

学校経営基本構想

高島町立高島中学校

<国>
第3期教育振興基本計画
5つの基本的な方針
<山形県>
第6次教育振興計画後期プラン
人間性に満ちあふれ
山形の未来をひらく人づくり
・「いのち」をつなぐ人
・学びを生かす人
・地域をつくる人
<置賜教育事務所>
誰一人取り残さない教育の実現

教育理念

耕・糸・愛

自立 創造 共生

<高島町>
高島町教育目標
～他者のいのちを尊重し、温かい心で共生社会をつくる人間の育成～
高島町学校教育の目標
1 「自ら学ぶ力」を育む
2 「豊かな心」を育む
3 「健やかな心身」を育む
4 「しなやかな社会力」を育む
高島町良憲章
・幼少中連携でめざす子ども像
あいさつ・読書・勤労

スローガン

えらぶなくとも ただしくいきる

～「ただしくいきる」姿を師弟ともに追求し、共感的肯定的な教育風土を創る～

めざす生徒像

- 1 人に迷惑をかけない
人のために尽くす（利他）行動が自然にできる生徒
- 2 失敗したら「ごめんなさい」
今の自分そして将来の自分にしっかりと向き合い伸びる生徒
- 3 してもらったら「ありがとう」
自身を愛し「おかげ様」の気持ちをもって他者とかわつて生きる生徒

めざす教師像

- 1 利他～すべては子どものために～
生徒の思いを汲み、課題解決に向けて共に考え、悩み抜く教師
- 2 自分に向き合う
目の前の生徒・保護者を丸ごと受け止め内省し、絶えず自己変革をめざす教師
- 3 おかげ様
自己を開き、同僚はもとより生徒とも学び合いながら明るく前向きに職務に打ち込む教師

経営の方針

1 育みたい力

- (1) 自分で考え、選び、行動する力
- (2) 学習に主体的に取り組む力
- (3) 仲間の良さを認め、尊重する力

2 方針

(1) 「自分で考え、選び、行動する力」を育むために

- ① 生徒との日常的対話をとおして、「今の自分」と「こうありたい自分」の意識化を図る。
- ② 教師の「指示」から「問い」への転換を図る。
「どうした?」「どうしたい?」「どうしてほしい?」の言葉がけを基本に日々生徒と向き合う。
- ③ 「傾聴」「対話」の姿勢を貫き、複数の選択肢を提示した上で、生徒が「選択」と「自己決定」ができるようにし、自己実現に向けては、「先回り」の指導を避け、ともに歩む姿勢で見守る。

(2) 「学習に主体的に取り組む力」を育むために

- ① 「好きこそもの上手なれ」を根幹に据え、生徒の興味関心を高め、教科のおもしろさを味わわせるための授業改善を図る。
- ② 複式的指導観のもと、すべての生徒に毎時間何か1つ「わかった」「できた」が実感できる授業をデザインする。
- ③ 終末の振り返りを工夫し、習得段階に応じた課題を生徒自身が選択し、主体的に家庭学習に向かうサイクルを創る。

(3) 「仲間の良さを認める力」を育むために

- ① まず職員室から「加点主義」の風を吹かせ、職員、生徒の自己肯定感を高めていく。
- ② 外部人材を活用し、発達段階に応じた人権教育に取り組む。
- ③ 生徒指導上の問題を「成長の機会」ととらえ、組織対応を徹底し、当事者の納得感を生む生徒指導を展開する。

R5年度の重点

高島中指導の合言葉～傾聴と機能～

◎傾聴(まずじっくり聴くこと)

◎機能(自己存在感・共感的人間関係・自己決定)

重点		具体策
生徒指導	規範意識・自浄力の醸成	・生徒会を中心とした「生活の約束」の見直しの取組をとおして、ルール・モラル・マナーの違いを理解し、相手意識に立った相互に気持ちの良い学校生活を送る力を育てていく。 ・スクールバス利用者委員会を立ち上げ、日頃の利用者の状況を互いに振り返り、修正していき力を育てていく。
	教育相談的生徒指導の更なる充実	・生徒と向き合う際の基本姿勢を「傾聴」「対話」として、生徒の心を開かせ、援助要求力を高めていく。 ・教育相談員、スクールカウンセラー、養護教諭との連携を密にし、多面的な生徒理解を図るとともに、コンサルテーションの場を確実に持つことで、職員教育相談力、特別支援教育力の向上を図る。
	地域を創る生徒活動	・ポストコロナにおいて、生徒には地域の事業や活動への自主的な参加を奨励し、地域には生徒に対する明確な役割を担わせていただくこと(参画する力)で、生徒の自己有用感や肯定感を高めていく。
学習指導	基礎基本の定着のための楽習施策	・互いに教え合い学び合いながら、「楽しく」取り組む期間を設定し、学校全体で主体的に学習に向かう風土を創りながら基礎基本の定着を図っていく。
	家庭学習時間の確保とメディア対応	・外部機関を活用したメディア教育を継続して行い、SNSトラブル等0をめざすとともに、家庭学習時間を増やしていく。 ・タブレット端末上の各教科の学習コンテンツを整備し、家庭学習での学び直しに活用できるようにする。
	キャリア教育を軸とした進学指導の充実	・ドリームマップづくりや職業講話、わくわくワーク等の取組を系統的に実施し進路意識を高めながら、3年時はコンサルテーション支援をこまめに、計画的に実施し、生徒一人ひとりの第1希望実現を果たしていく。
連携	自己管理能力の向上	・コロナに限らず、体調を崩して学校を休むことは自分が「損」をすることであるということを家庭と連携しながら自覚させていくことで、生徒一人ひとりの自己管理能力を高めていく。
	適切な情報発信・共有の場の設定	・学校HPやブログの更新、学校だよりの発行、学校開放日の設定、学校評価アンケートをとおして、家庭や地域に対し適切に情報発信をおこなうとともに、意見や要望を反映した経営改善を推進していく。

めざす人間像

えらぐなくとも ただしく生きる

(利他) (ごめんざい) (おかげざい)

～いじめをしない協創・共創のある高島中学校～
 [みんなで、気づき、見守り、声かけあう]

【いじめとは】
 けんかやふざけ合いであっても、相手が心身に苦痛を感じた行為であれば「いじめ」である。(インターネット、SNS上の書き込みなども含む)
 (「いじめ防止対策推進法」「山形県いじめ防止基本方針」より)

自分がされて、言われて嫌なことはない!

全校生みんなぞで!

生徒会宣言「利他」

- 一 私たちは自治と自立を第一とします
- 一 私たちは常に仲間を思いやります
- 一 私たちは感謝の気持ちを大事にします

「いじめ」をするのは、心の弱い人
 「いじめ」を見ないふりするのは、心の狭い人

起こさず!...未然防止

- 高いアンテナで“まるごとめんごがる”生徒指導
 - ・人権尊重に基づく指導を通じた信頼関係の構築
- 生徒の自治力向上
 - ・生徒会、学級での主体的な活動への励まし
- 自分の良さに気付かせ学校生活を充実
 - ・自尊感情、自己有用感を育てる
- みんなであわてる授業づくり
 - ・「主体的・対話的で深い学び」の授業づくり
 - 正義感や公共心等を育む活動
 - ・「考え、議論する道徳科」の授業づくり
- 生徒の良さを認め、褒め、発信する
 - ・声かけ、学校により、学級通信等での発信
- 世の中を学ぶ外部講師の活用
 - ・「人権教育」「いのちの教育」等の実施

家庭、地域みんなぞで!
 ~生徒一人ひとりが大切にするPTA~
 ~生徒を応援する教育委員会・地域~

- 日常生活でのさめ細かな観察
 - ・生活ノートや会話、表情からの見取り
 - ・個人面談による生活の把握
- 定期的アンケートの実施(全職員で共有)
 - ・「いじめアンケート」(2回)「さわやかアンケート」(3回)による把握
- 相談員やスクールカウンセラーとの相談体制づくり
 <早期発見⇒情報共有⇒迅速な対応へ>

見逃さず!...早期発見

~生徒の力を引き出す! 伸ばす! 活かす! ~

見守り支援...早期対応

- 「教育相談委員会」を中核とした組織的対応
 - ・迅速で正確な事実確認と情報共有
 - ・納得感のある的確な指導支援の確立
- 解決を目指すし、生徒を全職員で認め、励ます指導体制
 - ・家庭との綿密な連携
 - ・外部機関との情報共有、連携
 - ・全職員、家庭と連携した継続的な見守り、声かけ
- △重大事案発生時
 - ・重大事案対策委員会を中核とした組織的緊急対応(即教育委員会等との連携)

いつでもご相談ください
 高島中学校
 電話 0238-40-0355 メール taka-chu@bz04.plala.or.jp

